

「夏のトンボ観察会」(平成30年7月29日開催)

当日は「おけがや自然塾」の行事と兼ねて開催したため、自然塾の子ども達とその保護者も加わり、一般参加者と合わせて70人の参加がありました。

1 事前説明

野外観察の前にビジターセンターで、講師の細田所長からチョウとトンボの羽化の仕方の違いや、トンボは種類によって羽化の時期、成虫の寿命に違いがあるため、トンボを見られる時期が種類により異なること。ベッコウトンボについては、3月下旬に羽化が始まり成虫の寿命は約1か月であり、見られる時期は6月頃までであること等説明がありました。

2 野外観察

沼の南側の観察路から木道付近ではシオカラトンボ、オオシオカラトンボ、コシアキトンボ、ギンヤンマなどが見られ、菜の花畑には前日の台風の影響もありウスバキトンボが群れて飛んでいました。トンボを見つけたときには、その都度、講師からその生態などについて説明がありました。

3 甕塚(こしきづか)での活動と観察

甕塚(こしきづか)では「おけがや自然塾」の活動として、ベッコウトンボ増殖用コンテナへ塾生が自分の名札を貼りました。名札を貼ったコンテナは、これからその塾生が管理をします。本日は早速、自分のコンテナの中の増えすぎた水草や泥の除去作業を行いました。

甕塚(こしきづか)でもチョウトンボ、ショウジョウトンボ、ハラビロトンボ、キイトトンボ、ベニイトトンボなど多種のトンボが見られました。また、コンテナの中のヤゴを採集して観察し、講師に様々な質問をする光景がみられました。

4 まとめ

ビジターセンターへ戻り、本日観察できたトンボを子ども達から発表してもらい14種類を確認しました。その14種類のトンボを事前に用意したトンボ写真シールの中から見つけ出して、観察手帳の台紙へ貼り付けました。

最後に講師から「池や沼へ行き、見られるトンボの種類は一般的に5種と言われ、多くても10種程度です。本日、観察できたトンボの種類は14種であり、さすが桶ヶ谷沼と言えます。桶ヶ谷沼ではベッコウトンボの増殖に力を入れていますが、ベッコウトンボが住みやすい環境は、その他の生物にとっても住みやすい環境と言えます。」というまとめがありました。

1 事前説明



2 野外観察



2 野外観察



3 飯塚（こしきづか）での活動と観察



3 飯塚（こしきづか）での活動と観察



4 まとめ（観察した14種のトンボ）

